手術報告書

手術日：〇〇〇〇/〇〇/〇〇

患　者：〇〇　〇〇ちゃん　　紹介元病院名：〇〇動物病院

《手術内容》膵右葉腫瘤（膵腺癌疑い）および十二指腸切除

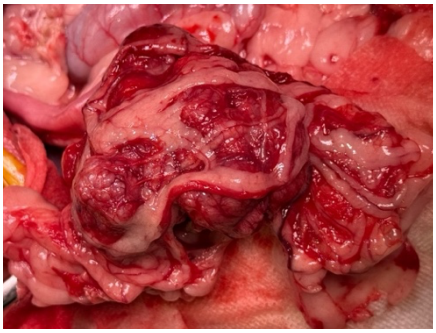
- 下記プロトコルにて麻酔開始
- 鎌状間膜の脂肪を除去し、腫瘤を確認
- 前膵十二指腸動静脈を確認、膵臓のマージンを 2cm 確保し、腫瘤より近位の膵右葉および前膵十二指腸動静脈を 3-0PDS で結紮離断
- 後膵十二指腸動静脈も同様に確認し、腫瘤より遠位の膵右葉および後膵十二指腸動静脈を 3-0PDS で結紮離断
- 十二指腸の色調を確認し、膵右葉腫瘤と同時に一括切除
- 4-0PDS で十二指腸断端をギャンビー縫合および単純結紮縫合にて吻合
- アクティブドレーンを設置し、常法に従い閉腹
- 食道チューブを設置し、手術終了

《麻酔プロトコール》

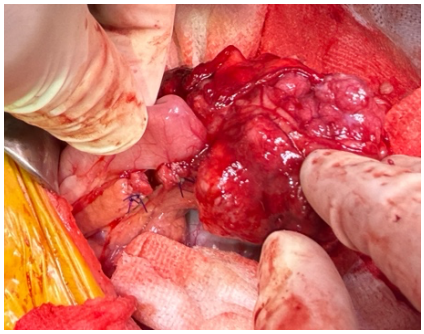
- 麻酔前投与：マロピタント、アンピシリン、メロキシカム、フェンタニル
- 麻酔導入：プロポフォール to effect iv
- 麻酔維持：イソフルラン
- 術中鎮痛：フェンタニル CRI、メデトミジン CRI
- 術後鎮痛：術後翌日よりブプレノルフィン
- 血圧管理：平均血圧に応じてエフェドリンおよびノルアドレナリンを使用

《手術写真》

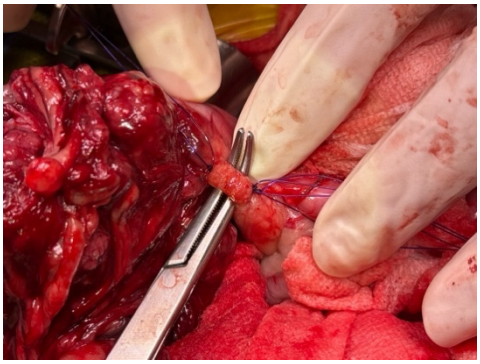
開腹後、腫瘤を確認



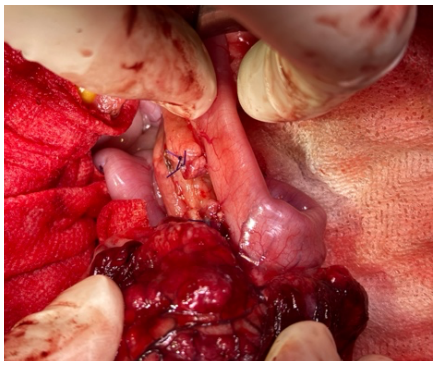
前十二指腸動静脈と膵臓実質を結紮離断



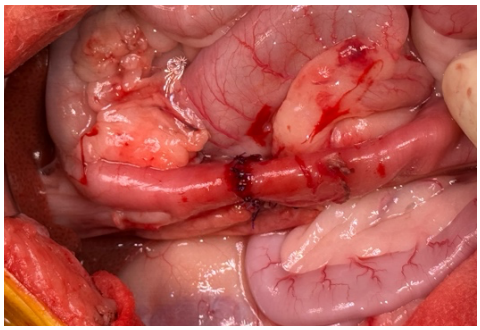
後十二指腸動静脈を結紮離断



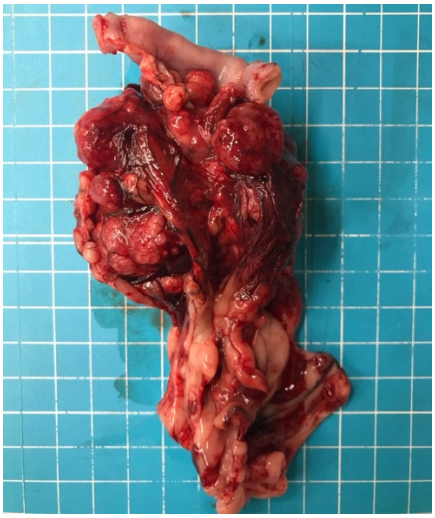
十二指腸の色調を確認し、膵右葉腫瘤と同時切除



十二指腸を端々吻合



摘出検体



《術後経過》

麻酔からの覚醒は良好で、術後は食道チューブより流動食を給与しております。
入院中の状態も良好であり、術後５日目にアクティブドレーンを抜去し、６日目に退院いたしました。
次回は〇〇月〇〇日に再診を予定しております。
病理組織検査結果が出ましたら改めてご報告いたします。

この度は貴重な症例をご紹介いただき、ありがとうございました。
本症例に関するご不明な点やご質問がございましたら遠慮なくご連絡ください。

かもがわ動物医療センター　腫瘍科科長
日本獣医がん学会　獣医腫瘍科認定医Ⅰ種
伊藤　敏生